

議会報告会会議録

1 開会日	平成23年5月14日 午後 1時30分 開会 午後 3時30分 閉会
2 場所	国府支所2階会議室
3 出席議員	山田喜一議長（開会あいさつ） 山口陽一副議長（閉会あいさつ） 奥津 勝子議員（司会） 鈴木京子議員（平成23年度予算報告） 坂田よう子議員（議員報酬報告） 高橋英俊議員（記録） 浅輪いつ子議員（記録）
4 傍聴議員	清水弘子議員 三澤龍夫議員 百瀬恵美子議員 竹内恵美子議員 土橋秀雄議員 鈴木修議員
5 参加者	32人
6 報告事項	(1) 平成23年度予算の主な事業などについて (2) 議員報酬について
7 その他	

議会報告会会議録

1 開会日	平成23年5月15日 午後 1時30分 開会 午後 3時30分 閉会
2 場 所	保健センター研修室
3 出席議員	山田喜一議長（開会あいさつ） 山口陽一副議長（閉会あいさつ） 鈴木修議員（司会） 清水弘子議員・土橋秀雄議員（平成23年度予算報告） 山口陽一議員・百瀬恵美子議員（議員報酬報告） 三澤龍夫議員（記録） 竹内恵美子議員（記録）
4 傍聴議員	鈴木京子議員 奥津勝子議員 高橋英俊議員 浅輪いつ子議員 坂田よう子議員
5 参加者	28人
6 報告事項	(1) 平成23年度予算の主な事業などについて (2) 議員報酬について
7 その他	

第2回議会報告会を開催

地方分権の時代を迎え、議会の役割は重大である。開かれた議会、町民の声を反映できる議会をめざし、議会基本条例に基づき、2年目の議会報告会を開催し、2時間にもわたり活発な意見交換を行った。

60名以上の参加で活発な意見交換をした。アンケートも43名あり、主な感想意見は「今後もこの会を発展させて欲しい」「町の将来像の討論を」など建設的な意見が多かった。



議会報告会（保健センター）

議員報酬等検討特別委員会 審査報告

議員報酬等検討特別委員会は、地方分権時代を迎え、議会が担う役割と責任はこれまで以上に重要なものとなってきており、議員の活動領域とその対価である「議員報酬等のあり方」について審査するために、平成22年11月16日の臨時会において設置し、7回検討を重ねてきた。

審査の内容

議員活動を4つの領域に分類し、活動状況の調査・確認を行った。当初、議員の活動量をもとに議員報酬を算出する方法、県内の他町村議会議員の報酬と比較する方法、町民の声の町政への反映状況で議員報酬額を説明する方法などの方式による試算を考えたが、町民の意見を踏まえた上で結論を出すこととし、5月14日及び15日に議会報告会を

開催し、町民へ説明を行った。

議会報告会では、報酬額引き下げに関する意見もあったが、専門的知識を生かして活動する議員はそれなりの処遇があってもよいのではないかという意見が多かった。

結論

本委員会では、「報酬」と「政務調査費」の2点について、その考え方と方針をまとめることとした。

月額報酬は、現状の額を維持した中で、議会報告会の開催日数、通年議会等の検討を進め、町民参加の推進による職務活動領域の拡大を図ることとした。また、期末手当の支給率は、町職員の手当率を参考として検討することとした。

政務調査費は、会議や委員会の活動経費と議員の調査研究経費を合わせ、現在1名あたり年額18万円を支給している。

今後は、委員会活動の充実を図るため、6万円を委員会活動経費として、先進地の調査や政策形成に関する研修等にあてることとする。また、12万円は政務調査費として、議員の調査研究経費に活用するとの結論を得た。

議員報酬等検討 特別委員会

委員長 山口陽一
副委員長 坂田よう子
委員 鈴木京子
百瀬恵美子
奥津勝子
土橋秀雄

予算に対する 主な質問と回答

問 健康相談事業「おあしす24」は医師会へ充分な相談がなく不備がみられる。議会でどんな計画案が審議されたのか。

答 詳しくは会議録を見ていただきたいが、医師を1千100万円で雇用することと、町の保健師・栄養士が健康相談にのるという内容だった。計画案の全体像や医師会との協議など審議できなかった。早速医師会など関係者と協議することを町長に要請していく。

問 一般会計予算、前年度より8.9%増の理由は何か。

答 月京住宅建替事業など普通建設費の増などだ。総額3億3千300万円は新たな事業ではなく、数年前からの継続で、設計も今年整い工事着工になったので、今年の予算計上になった。

問 個人町民税が前年度より6千700万円減の理由は。

答 景気低迷による町民の給与所得が減収したことと、定年退職者が増え年金受給者が増え高齢化が進んだことなどの理由である。

議員報酬に対する 主な質問と回答

問 委員会の議論はいつまでに決めるのか。

答 6月定例会の最終日の6月3日迄に決めたい。

問 議員定数の検討はされたのか。

答 平成19年に18名から4名減らしているため、現在は議題の対象になっていない。

問 検討に外部の意見を入れるべきではないか。

答 まず議員活動とは何かを明確にしてから、報酬の高低について皆さんの意見を聞き、検討していく。

問 議員にもっとしっかり働いてもらいたい。費用対効果でしっかり働いた

ら報酬ももっと高くても良いと思うが。

答 町政をチェックしていくには、もっと勉強と努力が必要である。議員活動をチェックしてほしい。

問 地方分権時代の今は、他との比較ではなく住民代表のプロとして議員の活動をしてほしいが。

答 議会の存在感が問われている。議員の質のレベルアップと議会活動の充実を図る努力していきたい。

その他の 主な質問・意見

○防災対策を地域ごとに分かりやすく示すべきだ。

○放射能汚染が不安だ。町が主体的に実態の公表を。

○大磯の良さを活かした観光立町を。葬儀場も含めて考えてほしい。

○マリア道はもっと検討を。

以上の意見は、町側に改善等を要望した。

議会報告会 アンケート集計結果

主な意見		日	参加者	回答者
今後もこの会を発展させてほしい	15名	5月14日(土)	32名(32名)	26名(9名)
町の将来像を描き、参加者と討論を	3名	5月15日(日)	28名(15名)	17名(8名)
若者の参加が増える工夫を	2名	合計	60名(47名)	43名(17名)
司会者のコントロールが弱い	2名			
議員は行動に責任を持つべき	1名			
歳入の議論をしてほしい	1名			
町を良くしていく議論をしたい	1名			
町民と共に解決に向け協働を	1名			
資料の棒読みはどうか	1名			
テーマを決めたのは良かった	1名			

感想	回答者
良かった	19名(6名)
普通	15名(6名)
良くない	2名(3名)
無回答	7名(2名)

()は昨年の回数

要望
日曜議会を開いてほしい
自然環境を活かした観光事業をしてほしい

地方議会議員年金制度が廃止
平成23年6月1日に地方議会議員の年金制度が廃止となった。